

上陸防備手帳 於ては 鐵道 東部 陸軍 部 昭和三十八

一、敵、上陸初段、通過者、能く示す、我が状況、不明、レテ、其、根拠、不明、在、如、
不、考、察、及、中、隊、左、右、於、て、通過、報、報、告、の、徹底、レテ、考、察、を、精、神、ノ、缺、如、

口、艦、砲、空、爆、之、有、強、通、信、行、徑、ノ、破、壞、

ハ、信、物、多、ク、レ、テ、一、般、之、通、信、ノ、要、之、観、念、缺、如、

二、右、ノ、特、別、封、鎖、左、如、

一、封、鎖、ノ、口、ハ、副、射、
口、通、信、部、要、ノ、防、備、 此、等、封、鎖、及、通、信、部、要、特、通、信、部、他、ノ、配、置、通、信、部、把、持、

強、向、施、設、ノ、設、定、 市、街、通、信、系、ノ、構、成、等、を、予、以、早、備、の、固、密、ヲ、モ、ル、ト

ハ、第、一、隊、部、隊、ハ、有、年、隊、ノ、分、隊、隊、隊、ノ、強、化、 視、察、音、響、者、指、号、ノ、副、通、信、部、

二、上、陸、防、備、之、於、て、通、信、強、ク、偵、知、レ、敵、上、陸、ノ、情、ハ、ハ、ニ、ツ、ク、シ、生、シ、混、乱、シ、且、

何、レ、之、ヲ、上、陸、防、備、ノ、於、テ、ハ、ハ、ニ、ツ、ク、傷、形、而、下、レ、互、リ、シ、約、ク、シ、情、ヲ、ノ、狀、態、

二、残、存、隊、兵、ノ、確、保、ノ、就、テ

一、孤、立、隊、兵、隊、兵、ハ、小、部、隊、ト、對、シ、絶、對、確、保、ノ、級、階、隊、兵、隊、兵、ヲ、妨、害、ス、ト

口、封、鎖、ノ、ハ、不、安、ノ、兵、兵、資、材、ヲ、補、給、シ、戦、力、ノ、培、養、ヲ、圖、ル、ヲ、要、ス

ハ、戦、場、運、送、路、上、備、後、隊、地、百、ノ、運、送、ハ、運、送、を、運、送、中、ハ、蝟、集、シ、之、ヲ、守、ル、

密林戰ニ關スル戰訓

昭和元二一八 第八艦隊司令部
昭和元九三〇 巡警三六〇 部隊復員

本資料ハ昭和十八年十月十三日、ホトシニル島ニ於ケル第六師團ヲロキナ島ニ於ケル第六師團ヲ
ロキナ攻撃及、ナギサ島方面海軍部隊ノ交戦等ヨリ得タル戰訓ヲ基礎トシテ記述セルナリ
將來ノ訓練及戰闘ニ際シテノ良參考資料ナリト認ム

一 密林中ノ戰闘法

一 晝間ノ密林戰ハ視界狭小ナル場合ニ戰闘法即チ薄暮黎明戰ニ準ジテ計畫準備訓
練スルヲ要ス 特ニ我軍ノ兵力及企圖ノ秘密通信連絡ノ確保音聲ノ靜肅等ニ留意ス
牽制陽動ノ奇襲及自兵ヲ有利ニ死守

二 夜間ノ密林戰ニ於テモ前項通ニテ密林ノ地形ヲ八月夜ヲ除キ暗夜ハ接敵行動ノ對敵
戰闘ハ殆ド不可能ナリ

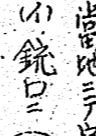
三 敵ト相對シ戰斗スル正面ハ精々ニテ中隊や連隊ナルヲ以テ寡勢ナル我軍ニ執リテハ有利ナリ
又局部的勝敗ガ全般ニ波及スルコトハ少ナキヲ以テ各地區毎ニ裝備ヲ完全ニシ力闘セ
ハ廣大ナル敵ニ對シ奧深ク楔ヲ打込ムニ急所ヲ突クコトヲ得ベシ

4. 敵補給路交通通信網遮断爲止同部隊挺身隊隱密謀略隊等派遣有利トス
5. 行動開始後ノ搜索偵察不充分ノ候、派遣困難性ト通信連絡不良且指揮官自敵情ノ全貌ヲ見ルコト能ハサルヲ以テ敵情判断決心處置ニ苦心大ニシテ又適切ヲ欲コトスラ以テ事前準備研究周到ナルヲ要ス計畫通テ敢然決行スルヲ有利トス場合多シ
6. 通信連絡ハ近距離視覚ニ依ル場合多キヲ以テ手先信號及手旗小銃懐中電燈等ノ携行物件ヲ以テスル簡單ナル信號法ニ依ラサルベカラサルヲ以テ之ノ操法ヲ研究工夫スルヲ要ス
7. 運動不活潑方向維持困難ナルヲ以テ携帶羅針儀ヲ携行シ之ヲ讀取法及太陽月星等ノ天体雲ノ流行、河川ノ流向等ニ注意ヲ拂ヒテ方向判断ニ専ルヲ要ス
8. 密林中ニテハ自體孤立トナリ又補給斷絶スル場合甚カラサルヲ以テ糧食等ヲ携行スルハ勿論ニモ困苦欲之ニ堪ヘクコト後方ト連絡ヲ確保スルコトニ努ムベシ、糧食盡キ自滅ノ外ナキコトヲ豫期シ時ハ隊長ハ飢餓ニ依リ体力減退スル以前ニ全カヲ與テ斷然敵中ニ突入シ糧食ヲ敵ヨリ獲得シ更ニ交戦ヲ續行スルヲ要ス
9. 密林戰ニ於テ我軍ガ勝ツ方策ハ方向維持ト徹底的匍匐ヲリト断言ス各隊長ガ自己部隊ヲ所望ノ方向ニ進出セシメ且敵陣地ニ至テ前進ヲ強ク匍匐セシメ得バ必勝スルハ疑ナシ敵前三十米、五十米ニ突撃ヲ行フ移轉スルハ徒損耗スルニシ

10. 密林戰ニ於テ敵ノ「マイク」地帯(敵陣地前面ニヨリ約五百米間)ノ通過ハ最も苦心スル所ナリ晝間雨時ヲ選定シ連接スルコト最良ナリ密林中ノ雨ノ響ノ燥音ノ爲「マイク」ヲ防音シ飛行機ノ銃爆撃ハ未ダ敵ノ警戒ハ疎ナリ我進撃ノ好機ナリ桶狭間ノ戰法ヲ採用スルヲ要ス
11. 突撃移轉ノ時機ハ夜間各隊ヲ突撃準備位置配備シ黎明時行ヲ最良トス
12. 夜間渡ル敵陣ニ突入スルコトス
13. 密林中ノ後方連絡及小隊ヨリ中隊ノ連絡ハ道標トシテ蔓ガツラ張ルカ又木幹ニシテ附近ヲ削ル等ノ自識必要ニシテ又中隊長小隊長迫撃砲機銃山砲等間ハ隱用無線電話ヲ施設スルコト必要ナリ
14. 現地ニ於テ敵飛行場ノ攻撃及密林戰ト雖モ空中寫眞ヲ撮影シ之ヲ充分判讀シ敵情ヲ知ル唯一方策ナリ
15. 防禦ノ立場トモ場合敵ハ重砲輕砲ノ火力航空機ニ依リ銃爆撃ヲ集中シ前面ヲ清掃シツツ進撃スル從ツテ我ハ敵後ヲ遮断補給路ヲ絶テ企圖シ敵ヲ孤立セシムベシ
16. 特ニ敵ハ割合ニ糧食ヲ携行シテ輕裝ニテ進出トスルヲ以テ後方遮断ニ依リ敵ヲ捕虜トシ或ハ殲滅スルコトヲ得ベシ

15. 攻防何レノ場合モ敵ノ迫撃砲陣地ハ偵知撲滅スルヲ要スルヲ以テ第一線部隊ハ敵ヲ偽
購シ敵ノ迫撃砲射撃ヲ誘引シ其所在ヲ暴露シテ之ヲ目標トシテ奇襲撲滅ヲ期スルヲ要ス
16. 防禦ニ於テ迫撃砲擲彈筒連射砲聯隊砲山砲大隊砲火焰放射器地雷爆發發物
等ヲ陣地ニ施設スルト共ニ敵ハ我火器及工事ニ對テ極大ニ慎重ニシテ之ガ破壊ヲ先トスル
以テ多數ノ偽陣地偽砲偽地雷偽水雷偽障礙物偽灯火偽發煙等ヲ施設シ適時適切
ニ隱顯發煙發火スルト必要ナリ尚必要性ハ充分承知スル之ヲ實行スルヲ憶動カリス如何
モ名案モ一片ノ反古ニテ敵ノ中教的爆發彈ヲ誘致スル策ヲカケルハ又二十ニ天ニ偽購策ニ敵
カ甘ク引懸レトシテ應ニナリ

17. 防禦陣地ハ敵ノ進軍方向ヲ判斷シテ構築スルト肝要ニシテ且敵砲火ニ依リ密林ヲ清野化
サレシ場合ハ基礎トシテ防禦計畫ヲ是陣地工事ヲ施スルヲ要ス
18. 我陣地ニ於ケル人員兵器彈藥糧食等ハ極力掩体防空壕等ヲ利用シ努メテ分散配
備分散格納ヲテシ無益ナル損失ヲ避ケルコトハ密林中ニ於テモ亦同様ナリ
19. 密林中ニ接近シテ手榴彈ヲ投擲スルハ効果大ナルモ之ガ手投ハ困難ナリ以テ擲彈筒ヲ有利
トス但シ擲彈筒ハ携行困難ナル點モアルヲ以テ小銃銃口ニ假裝擲彈筒ヲ裝備シ發射器
法ナリ

尚地ニテ實驗シ實用ニ供シツアル擲彈筒ニ要領左ノ如シ
①銃口ニ  型長サ約一〇〇釐直徑約一〇釐内筒ヲ裝着シ鈎型針ヲ照星懸テ撃止ス撃針ヲ
入レテ安全金ヲ安全針ヲ抜キテ裝入ス

- ②實包ノ彈丸ヲ取除キ火藥ヲ他ヨリ追加シ充滿燧ニテ密閉シ空包ヲ造ル
- ③仰角三〇度及至三十五度ニテ地上ニ托テ發射ス
- ④約一〇米拋物線狀ノ彈道ヲ描キテ飛程ガ
- ⑤手榴彈投擲ハ敵陣地ニ於テ行テモ以テ假裝擲彈筒ヲ取除キ迅速ニ銃劍裝着シ得
ルヲ要ス

ニ 密林戰ニ現ハレタル敵軍ノ特質

一 敵ノ陸戰ニ協力スル部隊ノ空地及陸海空協同連絡ハ巧ミニシテ無線通信及砲爆ノ實
動作ニヨリテ連絡シテリ
例ハ砲臺爆發ト歩兵ノ同時ノ目標ニ進軍シ飛行機ヲ頭高クニ同旋回スル時又觀測氣
球(長サ約十米厚サ約五米甚巻型)ヲ掲揚スルヤ重砲迫撃砲射撃ヲ開始シ又海上ノ驅逐艦
ニ同様標示對シ砲臺ニ其精度良好ナリ
二 敵ハ白人道路ヲ利用スルモ道路ノ造成極メ速ニテ航空機ヲ掩護下ニ自動車道路ヲ急

設シツ補給ヲ行フ從ツ補給量ハ我ニ設置シテモ補給路ノ多ク見テ兵力ノ移動
多ク下柙ルベカク資材生活物件ニシテ多クカレハシ

3. 歩兵ト戰車ト協同ハ偽裝モ戰車ノ前ニ數名ノ兵隊先行シツ自動短銃ヲ亂射モ戰
車ヲ進ム戰車ハ鐵板ヲ敷キツツ進行 戰車ノ後方ニ小部隊ヲ伴フ從ツテ進行速度遲シ
4. 敵陣地ヲ露出シ我攻事ヲ誘引ス我進出ハ口笛小笛等ヲ鳴ルシツ後退ニ敵陣ニ突
ハスルハ迫害砲等ニ依リ急襲シ思ハカク損害ヲ蒙ルコトアリ

5. 重砲山砲及迫害砲等ノ射事一度射事ヲ開始セバ同一諸元ニ迫害砲ハ數テ發重
砲山砲等ハ數百發ヲ連續發放シテ後 射線射程ヲ變換スルコトアリ

6. 敵迫害砲ノ危害範圍ハ幅幅七〇米縱 三〇米程度ニテ第一彈ニ煙彈ヲ發放シテ射
目標トシテ迫害砲ヲ打込ムコト多クアリ 前後又ハ左右ニ避退スルコトヲ得 迫害砲彈着點
ハ普通ノ上ニテ經テ七〇米深サニ至ル程度ナルヲ檢味壕(經約一〇米)橋木ヲ並べ上塊四
方ヲ置クニテ充分防止ニ得

7. 敵ノ地雷ヲ視發地雷多ク道路兩側ニ設置シ又埋没跟跡等ニ依リ發見シ易シ危害半
經約五乃至八米ノモノアリ

8. 敵モ手榴彈ヲ使用ス又地雷式裝備トシテ之ノ安全針ヲ抜キ小針全線結止ニ地雷落リ
我が足ヲ狙フソノ手榴彈ニ使用有キ安全 針リ及シ鐵釘等ヲ載セシテ發射者見セリ
9. 密林中ニマイクヲ裝備シ我進出ヲ偵 察事ヲ指向スル爲メ迷ハレシ通シテ之ヲ搜索茲同
着眼點切斷破壞要領偵察裝マイ 又音防止等ハ更ニ研究ヲ要ス

マイクノ發見極テ困難ナリマイク線モ アル線ナレドニ然リ線ヲ被覆セシテ鉛筆心大
ノ線ヲ沒收セリ之ハ敵陣ヨリ放射線狀ニ六尺ノ高サ又ハ地面ニ展張シテ以テマイクノ搜
索守候ハ斜行進シツツ發見ニ努ムルヲ要ス

10. 敵陣地ノ周邊及陣地附近ハ鐵條網ヲ構築セテ勿論ニ陣地前面三〇米内外ハ射器ヲ
清掃シテ

11. 夜間敵ハ進撃スルコト知シドナリ極メテ 靜ニ待テ夜間ノ警戒ハ粗漏ナリ

12. タロキナ萬線ニ於ケル各種砲ノ射事ハ 一ルカニ島於ケル約三乃至四倍ノ發射彈數及砲
彈音ヲ聞キツルコト 但シ砲爆發 音ハ密林中ニハ少ク且敵威嚇ノ目的ニテ爆發音大ナル
砲彈ヲ用ユルコトアリ音響ニ恐怖心ヲ起シヘカラス戰爭ニ音ハ常ナリ

13. 敵在候ハ軍大ヲ使用ス而シテ
14. 雨水多ク爲革製ヲ避ケ「スツク」製多シ
15. 衣服ハ煙管服ノ如キモノアリ

ハ雨衣ハ天幕兼用、六尺四方中央ニ穴アリ頭ヲ出シ頭巾ヲ被ルニシテ表ハ草色模様裏ハ褐色模様ノ偽装ヲナス

ニリニクツツツヲ背負ヘドモ重量物ハ概ネ腰ニ持タリ、腰帶ニ銃劍水筒ヲ懸ケ蕃刀拳銃ヲ吊リ

ハ、瓦斯マスクヲ有スルヲ以テ敵モ亦使フ準備アルベシ

ハ、我方ノ服ヲ着用シ潛入スルベシ

ハ、糧食ハ粘下缶詰乾麩麩、ビスケット類多ク、ゴキニラハスナシ

三、密林中ノ接敵行動

ノ隊形

敵ト距離依リ一定ノ隊形變換ヲ要スベシ中隊トシテノ例トシテ左隊形ヲ示シ要研究
何レノ場合モ小隊長又ハ中隊長ハ隊ノ前方ニ占位スルヲ要ス



而シテ小隊分隊ハ不意ニ敵ト遭遇スルコトアルヲ以テ其ノ願意ヲ示トキハ
↑ 進軍方向

ニ、服装、整装ヲ可トスルモ糧食内匙、板釘工具(蕃刀ハ必携)等必要物件ヲ以テ相當

重裝備トシテ銃劍等ノ音響防止草葉等ニ依リ偽裝等ニ心掛ケ六十米附近距離ニテ

モ匿レルコトヲ得又敵ノ服装ヲ奪ヒ逆用スル奇智モ必要ナリ

三、姿勢、敵ト距離又警戒程度ニ依リ是ヨリ歩行可能ナル爾後ハ徹底匍匐前進

進テラザルベカラズ

四、敵ノ自動銃等ノ彈着中心ハ割合ニ高ノ迫撃砲ニ對シテ伏シル方被害ヲ減少シ得ルヲ以テ匍

匍前進ヲ適當トス、特ニ中隊長小隊長指揮上高キ姿勢ヲ執リ勝テシテ今次作戰中

ニテモ中、小隊長級ノ戦死傷多キハ留意ヲ要ス

五、密林中大木蔭ヲ利用シ以テ前進スルコトニ芭蕉、麻等下ノ葉先程ニ述ベシ留意ヲ要ス

六、行進方向、方向維持ハ終始留意セラルベカラズ、進行ヲ凡何障礙ヲ越ヘテ一直線トスルカ

小路ヲ索メテ大体ノ方向ヲ進ガハ敵ト離等障害ノ難易係決定スルヲ雖、遠ニ無ニ

直進スルヲ可トスル場合アリ、夜間各列兵間ニ現地夜光木ヲ後頭仰又ハ背巾ニ照シテ

追隨スルニ便トス

- 7. 前進速度 匍匐前進の時間約一〇米乃至二〇米ナリ
- 8. 進撃の尺取蟻的進撃ヲ最良トス 一百米乃至二百米進ム毎ニ各小隊各分隊線ヲ規正シ連絡ヲ確保シテ進ムヲ適當トス
- 9. 留意事項

1. 午前候マ一度側方ニ派遣セバ之ガ收集極メテ困難ニテ普通ノ午前指導事項ノ如ク簡單ナル指令ニテ到底目的ヲ達シ得ズ 進路位置集結點行動範圍ヲ明示シ任務ノ限定縮少ニ置クマ下肝要ニテ午前候進路距離側方ニ〇米以内ヲ適當トス
 2. 小径ヲ列側面縱隊ニ不用意ニ敵ニ接近シ近巨砲ヨリ敵急襲射專ガ蒙リ一時多大ノ損害ヲ生シ狼狽ニ爲シ攻專續行ノ氣力ヲ失シ敵上高砲ヲ下テ此カヲ大ニ匍匐前進後敵前至近距離ニ於テ更ニ攻專準備ヲ補足シ此後一舉ニ敵陣地ヲ突入シ要

四 濕地帯ノ行動

- 1. 泥濘膝關節部ヲ浸シ濕地帯ニ歩行固トテスキト用テツギヲ杖トシ靴底ガシツキ(藤製經四〇纏三〇纏ノ楕圓形ニ荒々網)ヲ使用ス
- 2. 重量物運搬ニ規地木製ノ籠ヲ利用ス
- 3. 部隊ノ行進ハ草ヲ踏ミテ草丈大ナク草ヲ踏ミテ編メレニ一本一本トシテ敷ク可トス

此際道標トシテ片側ニ杉木ヲ打ツラ可トス

五 教育訓練

- 4. 胸迄没ル濕地帯ノ渡步法ハ折疊舟ガ浮舟或ハ「カマ」等ノ利用等研究ヲ要ス
- 1. 内地ニ於テ密林戰ニ演習教育ハ森林ヲ黎明薄暮時演練スルヲ適當トス
- 2. 現地密林地帯ニハ作戰ノ余暇又ハ後方ニ極力戰場教育ヲ實施シテ兵員ニ最モ大切ナリ
- 3. 密林中ニハ敵情判斷ノ指揮掌握ノ通信連絡ノ不如意ヲ以テ兵員モ各隊長特ニ中隊長小隊長ヲ教育演練演習前演習中演習後ニ必要事項ヲ特ニ注意時ニ經驗則チ隊長配セラレタル現状ニ於テ然リ
- 4. 堅固ナル敵陣地突破法 障礙物突破法 自兵突撃演練亦重要ニテ設置隊工員等ノ訓練ヲモ急務ナリトス
- 5. 密林戰ニ於テハ迫撃砲擲彈筒ノ使用機會多ク下機銃連射砲大隊砲山砲等ノ使用ハ仰角並ニ視界ノ闊原上甚クテ敗テハ付敵歩兵射也敵陣地突破法及突撃手部隊ノ協同法ヲ内地森林ニ於テ研究演練スルヲ要ス
- 6. 敵上陸ニ際シ機ヲ逸ス敵上陸點附近ニ舟艇機動ヲ依リ逆上陸ヲ實施シ密林背後戰ヲ展開スルハ其ノ効果極メテ大ナク以テ之ガ實施演練ヲ要ス

7. 匍匐ハ仲ノ苦キモモ之ガ徹底的演練ヲ要ス從ツテ演習經過ノ留學ヲ慎ミテ
ベカラス

8. 我軍モ切角優良な火器ヲ有ニツテ活用極ニ貧弱ニテ賢ノ持腐リトテ從ニ
突撃ノミテ勝トスル思想ハ改メ先ツ我モ火器ヲ活用シ然後最後ノ突撃ニ移
轉ル訓練ヲ要ス

配分区分 各大隊六部 (I 志) 各隊一部 105115 4245 一部 豫備 三部

(終)

遊撃戦ハ我々ノ要

第一 遊撃戦ハ我々ノ要
第二 遊撃戦ハ我々ノ要
第三 遊撃戦ハ我々ノ要
第四 遊撃戦ハ我々ノ要
第五 遊撃戦ハ我々ノ要
第六 遊撃戦ハ我々ノ要
第七 遊撃戦ハ我々ノ要

第一學 階ノ家ノ準備

